

(職業月職無代債益) 東京市芝属田村町四の十八

中 一 ゼンベル クローゼンベル クローゼンベルク

大住龍太郎澤大住龍太郎澤

のにとってのまれ書であり、 「阿 部 雅 夫部 「阿 部 雅 夫部

森電機商會 東城府竹湖町三丁回三六〇 奉誌 光似門 ③ 3810・2659

解題が聞いない

た袴および印度洋に對する日本軍の制態工作はいよく〜完璧に、同島防備に當つてゐた英印軍は日本軍の上陸とともに除伏でスポンニナ吾問題 ニューデリーよりのロイター通復やポエーヒー通信の製造に丸

我が印度洋制壓完璧

ダマン島ボートブレヤに奇襲上陸を敢行し、同島英軍をして無條件降伏せし大本警査室(二十六日午前十一時)帝國陸軍部隊は三月二十三日未明南アン

英側も確認 ニ十三日日本軍はラングーン西南山百六十キョベンガル灣内のアンダマン

「思治諸四」大果地戦戦の高さたの戦をのうちに結果された第七十九曲河連なりのとは記載の高された第七十九曲河連

でイロン島に危機

張化を要請して次の如く布告した・・・ 同島官民一致協力による同島の防御るに至つたがセイロン島知事は二十五日危機に備へて 同島官民一致協力による同島の防御、サイコン二十六日同盟』日本海軍のアンダマン群島占領により印度洋の脅威は一段と昂ま

英當局、防衞を絕叫

優渥な勅語

賜謁酒饌を賜ふ

首相以下議會關係諸員に

御忠勢の御下賜品

畏し、閉院式に賜ふ

極東の情勢は鎌籪を許さぬものあり、 セイロン島民は軍とこもに速かにあらゆる防衞措

見には近後ので

ダマン島奇襲

一般アベス間によれば、印度圏

リーに腕者。 リップス 「スタン「十六日回居」今回の北上の職者。 リップス 「スタン「十六日回居」今回の北海県のうち現在スは同日ラニャベル田屋(〇〇町廊の取るた職場のうち現在

潑剌たる議會。確立へ

人、心の、胸口に つき倒下間あらせられたがこと、今一又没くも飛艇兵との後の成都部に一般民族の赤鞭兵と刺する

の破事励力という数につき、炎曲器上申上げた外角である、

更に禁足令も發布

米の對邦人壓迫募る

カナダ未婚 男子を召集 男子を召集 男子をおけること

# 御満悦の體を拜し奉る

## 飛躍半島の實情を奏上

### 大児心臓緊消發以来、始めての上京であつたが破に、親しく琴

米と響き設計は飛分祭ガしたのでは、あるが、いかにせん、暗不足りした。な圧闘で飲味の影験外来の多人についても聞く解析したが能

ることを懸惑し事故「米昨年末まで此て十二萬五十のが発者を最供ない程であった。又忠弘の策と既はの歌をといい、これに半郷が直接達加すない程であった。又忠弘の策と既認の歌をに伴ひ、限方、関邦、支郎ない程であった。又忠弘の策と明ら、明方、関邦、支郎ない程であった。又忠弘の歌をはい、明方、関邦、支郎ない程であった。

英國案を檢討

安は郷次明眺心しつよあり、イギ

抗日テロ團覆滅

マレーの治安明朗化

アザッド と言見

内務解令

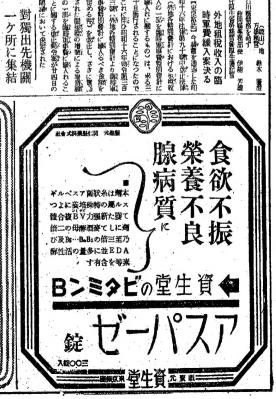
品支援心七、火心二、尚引被骗人上三、巡察化师一凹三、周獲 八七三、巡察化师一凹三、周獲 停頭、颞目出二、一〇二、安审

ヒ總統と會談

○駒木和天氏(豆腐・潤脂素が後)

勃國王ベルリン入り

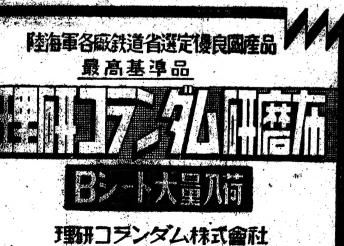




### 體育相談話を發表 【ベルリン二十五日同盟】アルガリキ副主ボリス三郎は二十四日制新大本郷にヒトラー戦태を評問、 秋だ。顧民自らが魔劇になる。 天は助大戦でとつくに試験衝み英國の財産概念、あの手この \*\*\* な大きい。 中央の動 一年、またもこ アオてカ肌美の雲 幸 位成为 の領は直接水能へ物質者を心上の設定に配置する (45 (85) 五字母 排列

社會或非藥學本日大

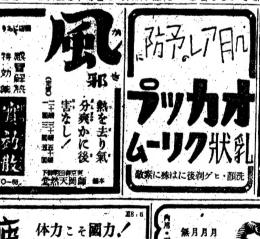




代理店 丁子屋商事部機械課

響機伊太利輕

昭和中等學院生















水盃と遺書と虎

吸験を征く

決死の測量隊

変國班用ポンプ



